

創立90周年記念式典 盛大に催される



大正11年に創立された岐阜県恵那中学校から数えて90年目に当たる昨年、恵那高等学校は創立90周年を迎えました。昨年11月10日(土)の午前に、学校主催の創立90周年記念式典、午後には同窓会主催のホームカミングデー、夜は懇親会が行われました。

11月10日(土)当日の朝は晴天で、絶好の式典日和。朝早くから各先生や各係の生徒が準備に大忙しでした。茶華道部や3年生の接待役・受付係の生徒が機敏に活動し、まさしく、おもてなしの精神で対応しました。演劇部・放送部の生徒が照明・放送設備を担当し、放送部の生徒の司会で記念式典が進行しました。来賓の方々からは恵那高等学校への思い



がいっぱい詰まった祝辞、式辞等をいただきました。感謝状贈呈、来賓紹介、祝電披露なども行われ、記念式典は予定通り11時に終了しました。

昼食はPTA主催のバザーが校内を賑やかにし、午後から参加された同窓生と生徒が歓談している場面も多く見受けられ、盛況のうちにバザーは終了しました。午後からはホームカミングデーでした。恵那高等学校の同窓生を温かくお迎え

いただきました。

休憩を挟み、恵那市、中津川市、恵那高等学校が撮影場所となっていた場面を、上手に繋いで再編集した映画「青い山脈」の上映がありました。年配の同窓生にとっては当時の学校付近、恵那峡など、懐かしい風景がスクリーンに映し出

されると、感慨に耽つておられる方が多く見受けられました。在校生にとっては初めて見る生徒も多かったと思いますが、編集が上手にされているため、35分という短くしたもので、ストーリーはつかめました。映画の中で、笑いを誘う場面では、老若男女、分け隔て無く笑ってもらえ、ほっとしました。

ホームカミングデー終了後、1・2年生の生徒が会場に残りました。司会者の松原さんから後輩へのメッセージということで、お話しいただきました。年齢が近い先輩ということもあり、親しみを込めて、一生懸命聞いていました。

その後は懇親会でした。学校からの移動はマイクロバス7台を用意しました。総勢210名あまりの方が出席してくださいました。卒業回生を中心にテーブルが用意され、懇親会が始まる前から話に花が咲いていました。司会は同窓生の大富部愛さん。バンド「是より木曽路」の演奏を聞きながら、多くの時間は歓談となり、盛況のうちに終えることができました。



－ 第13号 －

発行／岐阜県立恵那高等学校同窓会
所在地／岐阜県恵那市大井町1023-1
〒509-7201

TEL・FAX：0573-25-0253

E-mail:c27331@gifu-net.ed.jp

発行責任者 市川 康夫

同窓会報「城陵」について

平成13年より創立80周年記念事業に向けて発行が始まった本紙は、多くの同窓生の方々の協力金(一〇二,〇〇〇円)に支えられ、発行を続けてまいりました。創立90周年記念事業でも多くのご寄付をいただきました。しかし、会報発行のための協力金の寄付者が毎年減少してきており、今回の第13号をもって同窓会報の会計は完全に底をつき、次回会報の発行ができないう状況です。また、多くの会員のの方に読んでいただきたいのですが郵送することもできません。つきましては、母校と本同窓会発展のため、多くの皆様に協力金を寄せていただきますようお願い申し上げます。

同窓会報協力金振込先

会報協力金口座(株式会社同窓会事務局代行口座)

ゆうちょ銀行

岐阜県立恵那高等学校同窓会

口座番号

00170141300048



南側からの外観

待望のトレーニング施設がグラウンド北側（テニスコート西側）に完成し、「花の木トレーニングハウス」と名付けられました。

花の木トレーニングハウスの建設

本校には本格的なトレーニング施設がなく、以前から施設の建設が望まれていました。このたびの創立90周年記念事業の一つとして建設が計画され、平成24年8月に着工、10月末に完成しました。

1 建設に至るまでの経緯

トレーニングハウスの建設は、創立記念事業第4回実行委員会（平成23年5月）において決定されました。これに伴い、岐阜県教

育委員会に対して埋蔵文化財発掘の届出を行うとともに建物の新築承認申請手続きを行い、平成23年11月に承認を得ました。また、建設工事に伴う地盤調査を同年12月に実施し、地盤の構成、土質性状等いずれも良好な結果を得ました。その後、第5回実行委員会（平成24年1月）において建設場所をテニスコート西側に決定、設計・施工管理業務を大橋一級建築設計事務所

に依頼することになりました。平成24年度恵那高等学校同窓会総会（平成24年5月開催）には、トレーニングハウス建設の趣旨を説明し、募金による支援を呼びかけました。そして平成24年7月、設計書の提出を受け、名称を「花の木トレーニングハウス」に決定するとともに、同年8月に入札を実施、恵中建設株式会社に施工をお願いすることになりました。工事期間は約2カ月半と短い期間でしたが、工事は順調に進み、同年10月31日に完成しました。その後、同ハウスは、

2 施設の概要

トレーニングハウスは、腰壁に鉄筋コンクリートを用いた重量鉄骨平屋建てで、総事業費16,342千円をかけ建設されました。フロアは長尺シート張りとし、通路スペースとトレーニングスペースを色



南側入口から見た内部の様子

分けしています。窓は縦型ブラインドを設置、開口部を広くすることにより採光と通気性を高めています。また、手洗場や24時間天井換気扇を設置しています。今後、トレーニングマシンの導入などにより、本校のトレーニング施設として利用できます。

成瀬正樹校長退官、鎌田嘉彦校長着任



平成22年度から3年間にわたり恵那高等学校の校長を務められた成瀬正樹先生

は、この春、定年を迎えられご退職されました。成瀬先生は本校の高校23回生でもあり、昨年度の創立90周年記念事業を見事成功に導かれました。また、新校舎の完成、第67回国民体育大会ぎふ清流国体への選手や補助員の派遣、スーパースイェンスハイスクール第III

期の申請と実施など、多くの事業に関わってこられた。後任には岐阜県立中津川工業高等学校校長であった鎌田嘉彦先生が赴任されました。鎌田先生は地歴公民が専門で、硬式野球部の顧問を長年務めてこられました。また、教育総務課、教職員課福利厚生、県E S事業団、南ヶ丘中学教頭、岐阜農林高校教頭、大垣東高校教頭を務めるなど、管理職として中心的な働きをしてこられました。

中尾昭公文庫

創立90周年記念事業実行委員会より本を寄贈いただきました。昨年11月の創立90周年記念ホームカミングデーでご講演いただいた中尾昭公先生（名古屋セントラル病院院長・本校同窓生）のご推薦によるものです。

これらの本を「中尾昭公文庫」として、図書館で保存・活用させていただいています。中尾先生のご寄稿もある、外科医をめざす人に向けたメッセージを集めた本『きみが外科医になる日』（講談社）や、医学の歴史を名画や逸話で追った『アートで見る医学の歴史』（河出書房新社）、がん研究の最新動向を解説したシリーズ『がん研究のいま』（東

京大出版会）など、学生向けから専門性の高いものまで、興味深い内容の本が揃っています。主に利用しているのは医師・医学者を目指している生徒ですが、図版の多い本もあるので、医療や人体に興味をもつ幅広い生徒が手に取っています。（司書・渡辺）

城陵論壇

同窓会の皆様方には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

私どもの母校恵那高等学校は昨年創立九十周年を迎えました。私ども同窓会も平成二十二年より実行委員会を立ち上げて活動してまいりましたが、昨年十一月十日の記念式典等をはじめ、各記念事業を無事順調に遂行することができました。今は足掛け三年の航海を終えて、船が目的地に到着したような爽やかな気持ちで

ございます。これも、ひとえに同窓会の皆様をはじめ、各方面各位の温かいご支援とご協力の賜物であると心より感謝を申し上げる次第です。

ここで記念事業について概略を述べさせていただきます。

- ①トレーニングハウスの建設 生徒の部活動の振興に寄与するものとして、平成二十四年十月末に完成し、岐阜県に寄贈されました。
- ②同窓会名簿の作成・発行
- ③九十周年記念誌・DVD「城陵九十の歩み」の作

成・発行

④記念式典・ホームカミングデーの開催

⑤寄付金につきましては、別紙での報告のとおり、



同窓会会長

市川 康夫

予算額を一部以上上回るご寄付を頂戴することができました。名簿広告料等とあわせ三千五百万円の収入となり、記念事業

の遂行に効率的な運用を心がけてまいりました。私自身、過去創立七十年、八十周年、そして今回の九十周年と経験してきて、

えるのではないのでしょうか。そこは人と人との出会いの場であり、出会いがあれば、また別離もあります。まさに、「行く川の流れは絶えず

先人の恵那高に対する思いに改めて触れるとともに、質実剛健の気風を脈々と次代に受け継いでいかなければいけないと感じました。昨年は新しい三代目の校舎も竣工し、恵那高校もフレッシュスタートを切っております。これからの若い現役の同窓生が、新しい器の中で、伝統をふまえた新しい恵那高校の校風を創っていったきたいと存じます。新生恵那高校に私ども同窓会も微力ではありますが貢献していくことができればと思っております。

加わり、式典・財務・記念誌・記念誌名簿・懇親会の五委員会を立ち上げ、本校内事務局を置きました。平成二十四年九月に校地北側に体育系部活動活動のトレーニングハウスが完成し、十月に記念誌・同窓会名簿・記念DVDが完成し寄付者などに送付しました。松戸市に在住する旧制中学二十回生内海博さんからは、太平洋戦争で亡くなった二百人を超える戦い同窓生と職員記録「同窓生戦没者」を提供していただき記念誌に掲載しました。十月十日本校体育館を会場として、午前中に創立九十周年記念式典、午後同窓会主催のホームカミングデーを開催しました。体育館には今まで蓄積したノウハウを活かし設置にあたりました。表題看板は卒業証書授与式や入学式に使用できるものとし、紅白幕は岩田中学校、恵那東中学校、中津高等学校が貸し出し協力し全壁面を飾り、椅子席は午前午後の参加者数の変化に対応させ配置しました。受付誘導接待は三年生女子と養華道部が担当し、来賓からは絶賛の言葉がもたらされました。オープニングは演劇部が音響・照明・

ステージを担当し司会放送部が務めました。記念DVD「城陵九十の歩み」短縮版二の上映、生徒会役員による校旗入場から式典が開始されました。午後のホームカミングデーの司会中京テレビアナウンサー松原朋美(高校六十回)さんが務め、創立八十周年記念式

平餅などのバザー販売、夕刻からは懇親会を開催しました。参加者は在校生を含め延べ二千人を超え、これだけ多くの事業を計画実施し、また記念式典とホームカミングデーを校内で目録実施したのは、城陵史上に輝く偉業です。総ての同窓生、職員、生徒、保護者の献

の活動をさらに充実するため、平成二十四年度の卒業生から普通科二名、理数科二名の合計四名を各理事としました。仕事内容も懇親会の開催に加え、高校内の同窓会事務局との連絡、同窓会役員会の参加、同窓会名簿の確認など、学校との連携が強化されました。

定しました。在学生は常時七百を超える同窓会の会員です、その保護者はきき組織として同窓会を支援しています。創立百周年記念においても大きな活躍が期待されます。岐阜県恵那中学校、岐阜県恵那高等学校、岐阜県立恵那高等学校の同窓生として、同窓会活動は永遠に必要なものであり、心のよりどころです。校内中庭にある丸池は今年創立百周年のまで、本校同窓会のシンボリックな存在となっています。十年後の百周年にはすべての同窓生の力を結集して、盛大な事業を実施することを期待しています。

創立百周年記念に向けて

前恵那高等学校校長

成瀬 正樹

身的な努力に改めて感謝申し上げます。

十年後の創立百周年記念に向けて体制を整えていくために、すでにいくらか同窓会の改革が進められています。一つは組織の強化です。卒業生各回理事は卒業年度ごとに二名が選出され、学年ごとの懇親会の開催、名簿の作成、情報交換などが行なわれています。これら

同窓会総会の後に開催される懇親会幹事には、満年齢五十歳となった学年の同窓生を起用することとなりました。入会金については、新入学生から入学時に五千円を納入していただいていた。今年四月のPTA総会や昨年五月の同窓会総会での承認を経て、平成二十六年度新入学生から、三年間で一万円の納入が決

現在の恵那高等学校では学力を上げる授業、各委員会が運営し城陵大賞を競う城陵祭、総合的な学習に位置づけた修学旅行、課題研究(国際性)成果を上げるスーパーサイエンスハスクール事業など、特色ある教育活動を推進しています。これにちなんだ生徒は質実剛健、自主自治の校訓の下、自らの体を鍛え、感性を磨き、広い知識と深い教養を身につけるよう努力しています。引き続き恵那高等学校のご支援、協力をお願い申し上げます。

典司会者元NHKアナウンサー草野満代(高校三十七回)さん以来の注目新人の抜擢となりました。記念講演会では中尾昭公セントラル病院長(高校十八回)による膀胱癌手術の困難さや高水準にある日本の外科医療が紹介されました。その後映画「青山山脈(再編集版)」の上映、記念展示の公開、保護者による五





**2年生、
沖繩に学ぶ
修学旅行
（6月）**



母校のトピックス

本校の2年生が、昨年6月20日から6月23日まで、3泊4日の日程で沖縄に修学旅行に行きました。前日までの台風の影響で初日の日程は多少遅れたものの、無事に行うことができました。初日は「平和学習」をテーマに平和祈念資料館、ひめゆり資料館、ガマを見学しました。2日目は、「一人一人の知的好奇心を高める」をテーマに、グループ研修を行いました。ここでの研修は、総合学習で調査してきたことを、現地で検証するというものです。3日目はクラスごとの体験学習を行い、4日目は「沖縄の歴史と文化を学ぶ」をテーマに美ら海水族館、首里城を見学し、国際通りを散策しました。生徒にとって大変有意義で、思い出に残る修学旅行となりました。

信頼と対話の医学

SSH全校科学講演

（10月）

「信頼と対話の医学」医療の今と、これから」という演題で、国立がん研究センター広報室長 渡邊清高先生が講演されました。先生は講演内容を大きく3つに分け、①がんの発生の



仕組みから、研究成果を治療に生かす方法 ②医学・科学と社会の対話というテーマについて ③対話を科学の視点で捉えることについて話された。

「今や日本人の2人に1人が、がんにかかる時代になっていて、がんを特別なものとして捉えるものでなく、正しく理解し向き合うことで、より良い生活をするという考え方が大切である。現状では年間35万人ががんで亡くなり、70万人が新しくがんと診断される中で、かかった人をみんなで支えるという発想の転換が必要である。がんについて正しく理解すること、信頼できる情報を取り入れることも大切である。科学の進歩の恩恵を受ける一方で、技術革新に伴う新しい課題が生じ、私達医者は、学びながら対話や検証を惜しまず、課題を1つ1つ丁

寧に解決していくことが求められている。これは医療だけでなく、あらゆる科学分野においても必要だ」と締めくくられた。

「ダイアル・ア・ゴースト

幽霊派遣会社
芸術鑑賞会

（10月）

毎年、恵那文化センターにて、芸術鑑賞会が行われます。昨年は「劇団うりんこ」の演劇を鑑賞しました。話は孤児院にいる孤児が莫大な遺産相続者であることが分かり、その孤児の従兄弟たちが遺産を横取りしようとするが、第二次世界大戦時に敵の空襲で爆死した一家の幽霊が阻止するという、人間と幽霊が入り乱れて権謀術数を凝らす奇想天外な物語。主役をはじめ多くの役者が何役もこなし、限られた人数で工夫を凝らした舞台転換など、息もつかせぬ熱演がとても印象に残る作品で、生徒たちもすぐにその舞台に引き込まれていきました。

先輩たちに学ぶ

職業講話

（11月）

1年生対象に職業講話が



行われました。スポーツインストラクター、医師、薬剤師、保育士、弁護士、ミュージシャン、管理栄養士など15講座18名の講師が恵那高校を訪問し、自分の職業について、どうしてその仕事を選んだか、どんな時にやりがいを感じるか、これから高校生としてやっていくべきことは、などについて語っていただきました。生徒は1人2講座を選択し、話を聞きました。講師の方々は、本校卒業生や、地元の方が多く、熱心に話をしてくださいました。生徒も自分の進路を考える一つのきっかけになったのではないかと思います。今後とも生徒の希望を優先しながら多くの職業について話ができるよう企画していきたいと思います。

受験本番

大学入試センター試験

（1月）

今年は232名の恵那高生が中京学院大学にてセンター試験を受験しました。昨年ほどの冷え込みはなかったものの、寒さと緊張で引き締まった表情の恵那高生達は、同窓会から送られたキットカット（きつと勝つぞ）、コアラのマーチ（コアラは寝ていても木から落ちない）、トッポ（突破の意味）などを、教員から激励の言葉とともに受け取り、同窓会から寄付された「頑張れ恵那高生」の垂れ幕の下を通って各会場に向かっていました。



卒業生の大学等合格先 (平成22年度～24年度)

※現役生合格者と過年度生合格者の合計数。() 内は過年度生合格者の内訳数

国立大学

大学名	年度	平成24	平成23	平成22
北海道教育				1
北見工業			1	1
岩手			1	1
東北			1	
茨城				2
筑波	1			5(1)
埼玉			2	1
千葉	1	1		
東京農工				1
東京学芸				1
東京海洋				1
一橋				1(1)
横浜国立	2	2(2)		3
新潟		1		3
富山	4	1		8
金沢	4	4		4
福井	3(1)	2		1
山梨	2	1		1(1)
信州	8	2(1)		9
静岡	7	11		8
浜松医				1
豊橋技術科学			1	
愛知教育	2	5		4
名古屋	11	11		14
名古屋工業	3(1)	6(1)		5
岐阜	13	12(1)		12(1)
三重	2	3		1
滋賀	2	1		
京都教育				1
大阪		2		1
奈良女子				1
大阪教育		1		
兵庫教育			1(1)	
神戸	2			
島根		2		
広島		1		1
山口	3			
高知			1	
香川			2	
愛媛	1			
九州		1		
宮崎	1	1		
大分				1

公立大学

大学名	年度	平成24	平成23	平成22
青森県立保健 会津			1	1(1)
前橋工科	1	2		
高崎経済	2			1
首都大学東京			2(1)	2(1)
横浜市立				1
新潟県立				3
福井県立	1	1		3
都留文科				2
群馬県立女子				1
山梨県立	1			3
岐阜県立看護	1	3		1
岐阜薬科	1			1
静岡県立			3	1
静岡文化芸術	1	3		2
愛知県立	2	2		5
愛知県立芸術			1	
名古屋市立	4	4		3
滋賀県立				1
京都府立				1
大阪府立	2	1		1
神戸市外国語				1
兵庫県立				1
県立広島	1			
岡山県立				1
新見公立			1	
福山市立				1
高知県立			1	
島根県立			2	
長崎県立	1			

私立大学

大学名	年度	平成24	平成23	平成22
早稲田		3(1)	2(1)	8(1)
慶應義塾				4
明治学院		1(1)		2
明治			8(1)	5(1)
青山学院			3(1)	1
立教		1		1
中央			4	
法政		2	6(1)	
文教			2	
駒澤		2	5	1
文京学院			1	
成蹊			2	
専修			2	2
東京理科		4	3(2)	1
東京農業			1	4
東海		4	2	1
日本		2	2(1)	4(1)
日本体育		1		1
関東学院		3		
高崎健康福祉		4		
東京工科				1(1)
獨協			1	
獨協医科				1(1)
国士館			1	
千葉科学		1		
創価		1		
北里			2	
川崎医科				1(1)
帝京			1	1(1)
帝京平成				1
神奈川		2	3	
神奈川工科		3	2	
東京電気		2		
東京都市		1		
武蔵野美術			1	1(1)
多摩美術			2	
立正		1		
東京造形				1
国際基督教			1	
麻布			1	
玉川		1(1)		
埼玉医科		1(1)		
金沢医		2		
金沢星陵		1		
修文		1		
静岡理工科		1		

私立大学

大学名	年度	平成24	平成23	平成22
山梨学院		1		
愛知		19(1)	17	6
愛知医科			1	3
愛知学院		22	3	9
愛知学泉				1
愛知みずほ		1		
愛知工業		6	8(3)	7(1)
愛知淑徳		15	11	10
愛知工科				5(2)
南山		21(1)	34	23(1)
中京		26(1)	9	16
中京学院		2	5	3
中部		25(2)	40(3)	24
中部学院		1		2
名城		52(4)	43(3)	41(1)
名古屋外国語		3		10
名古屋学院		2	8	2
名古屋学芸		7	5	5
名古屋経済		2	1	
名古屋芸術			1	1
名古屋女子		3	11	5
名古屋商科		2	2	1
名古屋造形芸術			1	
同朋			5	
常葉学園			1	
東海学院			1	
東海学園		5	3	2
相山女子学園		9(1)	4	4
皇学館			1	
名古屋文理		3		
桜花学園				1
金城学院		15	7	8
豊田工業		2	1	
大同 (旧 大同工業)		1	2	5
岐阜医療科学		3	1	2(1)
岐阜聖徳学園		8	8	7
岐阜女子		3	1	1
朝日		1		
金沢工業			5(1)	5(2)
日本福祉		4	6	1
鈴鹿医療科学		1	1	
福井工業			2	
藤田保健衛生		6(2)	7(1)	7(1)
酪農学園				1(1)

私立大学

大学名	年度	平成24	平成23	平成22
同志社		7(1)		4(2)
同志社女子		1	1	
立命館		15	23	15
関西学院		1	2	
関西		3(3)	1	1
関西外国語			1	3
甲南女子		1		
京都嵯峨芸術			1	
京都外国語		2	3	3
京都学園		2		
京都橋		1	1	
京都産業		5	3	
京都女子			4	2
龍谷			3(1)	1(1)
京都精華		1	1	
成安造形		1	1	
近畿		4	7(2)	5
佛教			2(1)	1
大阪芸術				1
摂南		1(1)	1	
大阪樟蔭女子		1		
追手門学院		1		
明治国際医療		1		
岡山理科		1	3	1
千葉工業				1
鳥取環境			1	1(1)
福岡				1(1)
久留米				1
福山			2	
広島工		1		
東北公益文科				1
長浜バイオ		2	1	
高千穂			1	

平成25年度入試・難関大学にみごと合格!!

岐阜大学医学部医学科 2名合格

名古屋大学 11名合格

埼玉医科大学医学部(医) 2名合格

筑波大学 合格

神戸大学 2名合格

早稲田大学 3名合格

横浜国立大学 2名合格

岐阜薬科大学 合格

「寄付者芳名」

「創立九十周年記念 同窓会員名簿」に掲載されて
いなかった方々です。多くの寄付をいただきありが
たいうちがました。

【高15回生】	【高14回生】	【高13回生】	【高12回生】	【高11回生】	【高6回生】	【高5回生】	【高4回生】	【高1回生】	【中25回生】	【中24回生】	【中22回生】							
新田康次郎 様	額 纈 信子 様	中 神 良機 様	山内喜久男 様	磯村 源蔵 様	内 木 靖 様	山 口 重信 様	堀 尾 庸通 様	木 本 尚伸 様	篠 原 重遠 様	安 田 道郎 様	楓 亥四男 様	若 林 成典 様	加 藤 明 様	小 境 卓男 様	加 藤 千冬 様	塚 田 芳郎 様		
安田 栄子 様																		
【高29回生】	【高28回生】	【高24回生】	【高23回生】	【高22回生】	【高21回生】	【高19回生】	【高18回生】	【高17回生】	【高16回生】									
小田恵理佳 様	生田 靖夫 様	水谷 雅敏 様	原田 恵喜 様	山口 賢二 様	遠山みどり 様	水野 喜文 様	熊谷 盛治 様	小木曾義明 様	金子あや子 様	池戸 信男 様	平山 盛秀 様	土井 鏢一 様	安田 昌治 様	田村由美子 様	勝野 忠雄 様	小川 桂祐 様	秋山 圭吾 様	新田 玲子 様
後藤貴代子 様																		

【高30回生】	岡村 英治 様	【高31回生】	糸魚川健二 様	【高32回生】	安田 斉 様	【高34回生】	勝 圭史 様	【高35回生】	木本由紀雄 様	【高37回生】	内村 恵子 様
【高38回生】	木本 厚子 様	【高41回生】	新田 英博 様	中尾まゆみ 様	【高45回生】	深谷 奈亮 様	【高50回生】	湯口あかね 様	【高52回生】	和田 卓士 様	
【高54回生】	和田 佳子 様	【高62回生】	伊藤 牧穂 様	【在校生保護者他】	松田 幸博 様	竹中 泰 様	伊藤 正樹 様	西尾 誠 様	【法人・団体】	岐阜県警「桜の木会」代表者	成瀬 利通 様



岐阜県立恵那高等学校創立 90 周年記念事業実行委員会				
創立 90 周年記念事業会計決算書				
自：平成 23 年 10 月 1 日 至：平成 25 年 4 月 1 日 単位：円				
収入の部				
項 目	予算額	収入済額	増 減	備 考
寄付金 寄付金	22,000,000	24,399,668	2,399,668	寄付者 2,045 人
広告料 名簿広告掲載料	5,000,000	4,853,700	△ 146,300	120 件
繰入金 同窓会	5,000,000	5,000,000	0	同窓会積立金から繰入
助成金 助成金	800,000	800,000	0	伊藤青少年育成奨学会助成金 500,000 十六地域振興財団助成金 300,000
雑収入 雑収入	1,000	1,647	647	預金利息
合 計	32,801,000	35,055,015	2,254,015	
支出の部				
項 目	予算額	支出済額	予算残額	備 考
総務費	5,390,000	5,268,201	121,799	
会議費	30,000	3,456	26,544	お茶の購入
事務費	30,000	7,400	22,600	実行委員長印代、コピー用紙、封筒
旅費	30,000	0	30,000	連絡調整旅費
印刷製本費	120,000	104,315	15,685	式次第（パンフレット）印刷代
役務費	170,000	151,350	18,650	招待状・案内状はがきの購入、郵送料
委託料	5,010,000	5,001,680	8,320	募金活動事務委託料（㈱同窓会事務局）
式典費	735,000	689,372	45,628	
会場費	100,000	82,935	17,065	白布、式典用飾花の購入
表彰費	230,000	225,887	4,113	感謝状印刷代 記念品 丸筒
食料費	80,000	75,525	4,475	来賓等食事代
消耗品費	150,000	138,300	11,700	手提袋、胸リボン、来賓土産等
備品購入費	100,000	96,600	3,400	ステージ看板の作成
委託料	60,000	55,125	4,875	駐車場整理業務委託料
報償費	15,000	15,000	0	ホームカミングデー司会者謝礼
記念事業費	26,676,000	26,579,300	96,700	
トレーニング施設建設費	16,400,000	16,342,635	57,365	設計等委託料 1,163,000 ハウス建設費 15,120,000 他
同窓会員名簿作成費	6,830,000	6,800,840	29,160	名簿 1,800 冊
名簿広告データ制作費	610,000	609,945	55	名簿広告データ制作委託料
記念誌発行費	930,000	929,565	435	記念誌 1,500 冊
DVD 作成費	1,810,000	1,801,050	8,950	DVD 3,500 枚
記念図書購入費	96,000	95,265	735	図書購入費（講師料の振替）
合 計	32,801,000	32,536,873	264,127	
収入済額 35,055,015 支出済額 32,536,873 差引残額（円） 2,518,142				
差引残額については、平成 25 年度恵那高等学校同窓会積立金会計へ振替えます。				



市川康夫会長の出席を得て、会長から表彰状・時計付きクリスタル楯が、それぞれの生徒に手渡された。表彰された生徒は、次の通りであった。(学年は平成25年3月現在のものである)

平成24年度 Student of the Year賞 生徒10名と5団体が輝く！

今年度本校に在学する生徒の中で、最も顕著な活躍が認められた生徒を表彰する、「Student of the Year賞」の表彰式が、平成25年2月28日(木)14時から、恵那高校第一体育館で、全校生徒・職員の前で行われた。

この表彰は、平成19年度から同窓会が行っている事業の一つ

で、表彰式には

市川康夫会長の出席を得て、会長から表彰状・時計付きクリスタル楯が、それぞれの生徒に手渡された。

表彰された生徒は、次の通りであった。(学年は平成25年3月現在のものである)

ボート部男子舵手付クォドルプルクルーの丹羽祐麻(2年生)君、市川大輔(2年生)君、舘林 将(2年生)君、中田 慶(2年生)君、近藤貴裕(2年生)君は、平成24年度岐阜県高等学校新人大会ボート競技男子舵手付クォドルプルに出場し、優勝した。

ボート部女子ダブルスカルクルーの市川麻耶(2年生)さん、堀部みこと(2年生)さんは、平成24年度岐阜県高等学校新人大会ボート競技女子ダブルスカルに出場し、優勝した。

ボート部女子ダブルスカルクルーの岡本夏彩(ゆい)(2年生)さん、堀部みこと(2年生)さんは、平成24年度中部高等学校選抜ボート大会女子ダブルスカルに出場し、準優勝した。

市川大輔(2年生)君は、ぎふ清流国体ボート競技少年男子ダブルスカルに出場し、7位に入賞した。

ボート部男子ダブルスカルクルーの永治紳悟(3年生)君、林 惇(すなお)(3年生)君は、第23回全国高等学校選抜ボート大会男子ダブルスカルに出場し、11

位に入賞した。

堀 晴夏(3年生)さんは、平成24年度東海高等学校総合体育大会ボート競技女子シングルスカルに出場し、準優勝した。また、全国高校総体、ぎふ清流国体ボート競技に出場した。

林 惇(すなお)(3年生)君は、平成24年度全国高等学校選抜大会ボート競技、東海高等学校総合体育大会ボート競技、ぎふ清流国体ボート競技において、準決勝に進出した。

西尾文吾(3年生)君は、平成24年度岐阜県高等学校総合体育大会800mおよび1,500mに出場して優勝し(1,500mは2連覇)、平成24年度全国高等学校総合体育大会陸上競技800m、1,500mに出場した。

畠本ももこ(3年生)さんは、平成22年度から24年度まで岐阜県高等学校総合体育大会陸上競技女子走り高跳びに出場し、3年間連続で優勝した。

三宅将督(まさよし)(1年生)君は、平成24年度岐阜県高等学校新人陸上競技

大会走り高跳びに出場して優勝し、平成24年度東海高等学校新人陸上競技大会走り高跳びの部に出場して2位に入賞した。

日室夏希(2年生)さんは、第33回岐阜県高等学校放送コンテスト新人大会朗読部門に出場して優勝し、全国大会に出場した。

齊藤夏希(3年生)さん、堀 純子(2年生)さんは、第32回岐阜県高等学校放送コンテスト新人大会オーディオピクチャー部門に出場して優勝し、第36回全国高等学校総合文化祭に出場した。

吉田智瑛(2年生)さんは、第33回岐阜県高等学校放送コンテスト新人大会アナウンス部門に出場して準優勝し、全国大会に出場した。

熊谷光起(こうき)(3年生)君は、科学地理オリピック日本選手権2012に出場し、金メダルを受賞した。

山内康太郎(2年生)君は、平成24年度日本数学コンクールに出場し、優秀賞を受賞した。



平成25年度 同窓会総会

事業ならびに決算報告、役員確認、25年度事業案ならびに予算案の承認が行われた。合わせて創立90周年記念事業の決算報告も行われた。

総会に続き、同ホテルを会場に18時より高23回生が幹事を務める懇親会が開催された。可知恵那市長(高7回)の挨拶に続き、「是より木曾路」のアトラク

ション演奏が催された。しばらく歓談の後、大会の歌(城陵歌)の合唱、来年度幹事(34回生35回生)代表決意表明が行われ、会は終了した。

同窓会総会、懇親会が、5月12日16時30分より恵那峡グランドホテルを会場に、会員52名の出席にて開催された。市川会長、鎌田学校長による挨拶、水野瑞浪市長(高24回)による支部長代表挨拶の後、24年度



各支部各回同窓会あれこれ

恵那城陵会総会

平成25年2月11日（月）16時から、恵那市「恵那峡グランドホテル」において、恵那城陵会総会が開催された。小澤会長より挨拶があり、来年度の、同窓会本会の総会および懇親会から合同で行うとの意思が示された。その後、平成24年度会務報告、収支報告、今後の方針について審議がなされた。総会の後に懇親会が開かれた。懇親会では高校33回生が幹事を務め、アトラクションとして渡邊さやか氏による「健康体操」を行いました。軽くストレッチなどをし、リラックスした雰囲気での懇親会が進められた。



東京城陵会総会

平成24年5月26日（土）正午から、東京の台場ホテルグランドパシフィックにて「第15回東京城陵会」が開催された。より多くの会員の参加を目指し、昨年度より、「東京城陵会」と名前を改め、今年で2回めである。高井会長の挨拶の後、市川同窓会長、成瀬校長による祝辞が寄せられた。続いてご臨席の多治見北高校同窓会東濃支部 原田会長、瑞浪高校首都圏同窓会加藤相談役の紹介があった。こうした他の同窓会との懇親も、互いの同窓会活性化のために意義あること



土岐市城陵会総会

平成24年6月10日（日）17時から、土岐市「竜庵」において、「第20回土岐市城陵会総会」が開催された。平成23年度の会務報告・会計報告の後、新規役員及び理事が選出された。三宅重幸会長（高10回）から会員



であると思われた。物故者への黙祷の後、乾杯で会は始まった。大久保もと氏（高校9回）によるシャンソン独唱、恒例の籤引きが行われ会場は大いに盛り上がった。東京城陵会の歌、校歌を斉唱により盛会の中閉幕となった。

瑞浪恵窓会総会

7年間の休止後、昨年度（平成23年度）より再興された瑞浪恵窓会の総会が、平成25年3月17日（日）18時から、地域交流センター「ときわ」において開催された。来賓紹介、役員紹介に続き、平成24年度の事業報告および会計報告がなされた。平成25年度の役員改選においては、水野光二会長を始め役員がすべて再任され、平成25年度事業計画および予算等予定された議事は滞りなく承認された。

成瀬校長による創立90周年記念事業および恵那高校の近況報告がなされた。その後、創立90周年記念DVD「城陵」を鑑賞しながらの懇親会が開催され盛会の中

の前で紹介があり、拍手で承認された。新会長に、戸谷仁彦氏、新会計に、柳河瀬久夫氏が就任し、副会長、書記は留任となった。その後引き続き、『やきものと日本人の心』と題して、愛知教育大学教授・陶芸家 中島晴美氏（高21回）の講話が行われた。恒例の懇親会は、34名の参加があり、互いに懇親を深め、和やかな雰囲気の中に閉会した。



閉幕となった。

※中津川恵那高会（恵蘇会）総会、名古屋恵那高会総会は、創立90周年記念式典と日程が重なるため、昨年度は見合わせとなりました。

※この紙面では、同窓会の各支部や学年同窓会の様子などを掲載しています。今年度開催予定の同窓会がありましたら、原稿と写真などを、恵那高校内同窓会事務局（〒509-1720 1・恵那市大井町1023番地の1）までお送りください。